

男女共同参画の視点からの防災

シチュエーションシート集

避難所①

- 大規模な災害が起こったため、あなたは家族と共に、避難所となった中学校の体育館で数日を過ごしています。
- 避難所の運営を行うため、住民による班を作ることになり、PTA会長であるあなたは運営会議に出席しました。集まっているのは、自治体の職員や自治会の役員など男性ばかりです。
- 運営会議で、様々な情報を収集する「情報班」や、避難者数の把握や施設の管理を行う「管理班」、衛生環境の管理を行う「環境班」などを置くことになりました。あなたは、各班の業務の調整を行う「調整班」を希望しましたが、「食料班」の班長になってほしいと頼まれ引き受けました。

(シチュエーションシート「避難所」を読み上げる際に投影するスライドです)

避難所②

- 毎日夕方に開催される運営会議で、次のような声が避難者から挙がっていることが報告されました。
 - 校庭に設置されている仮設トイレを男女別にしてほしい。トイレが和式で手すりがなく、高齢者は使えない。
 - 下着や生理用品が足りない。支援物資として届いたものも、スタッフが男性ばかりなので受け取りにくい。
 - 小さな子どもが走り回ったり騒いだりしていて迷惑だという苦情が出ている。
 - 女性たちはずっと炊き出しの作業に追われていて疲弊している。
 - 特に女性から洗濯した下着を干す場所がないとの声や授乳する場所がどこにもないという声が出ている。
 - 夜に寝ていたら誰かに身体を触られたという女性や、トイレに行くときに暗がりに入れ込まれそうになった子どもがいる。

(シチュエーションシート「避難所」を読み上げる際に投影するスライドです)

気になるワード

「自治体の職員や自治会の役員など男性ばかり」「仮設トイレを男女別」「女性たちはずっと炊き出しの作業」

対策のポイント

1. 避難者による自治的な運営組織には、男女両方が参画するようになっているか。
2. 避難所の開設当初から、授乳室や男女別のトイレ、物干し場、更衣室、休養スペースを設けることになっているか。
3. 班を組織して避難者が活動する際は、特定の活動（例えば、食事作りやその後片付け、清掃等）が片方の性に偏るなど、性別や年齢等により役割を固定化することがないようにしているか。

シチュエーションシート「避難所」について解説します。

ポイント

- ✓ 「気になるワード」に留意してケースを考えること
- ✓ 「対策のポイント」として挙げられたことについて気づき、日頃の活動を振り返ることが重要であること

解 説

取組指針 3 避難所（１）避難所の開設

避難者が入所してから、避難所内部のレイアウトや区域の設定を変更することは難しいため、避難所を開設する際に、授乳室や、男女別のトイレ、物干し場、更衣室、休養スペース等を設けることが必要。

取組指針 3 避難所（２）避難所の運営管理

避難者による自治的な運営組織には、男女両方が参画するとともに、責任者や副責任者等、役員のうち少なくとも3割以上女性が参画することを目標にすること。

活動の種別ごとの班組織を設置する場合にも、班の責任者は複数名とし、男女両方が担うことが必要。

取組指針 3 避難所（４）衛生・保健

同性の支援者でないと相談しにくい悩みもあることから、男女両方の相談員を設置することが必要。

シチュエーションシート「避難所」の「対策のポイント」に関して詳しく解説します。

ポイント

- ✓ 避難所の開設当初から、女性や子育て家庭等に配慮した設営とすることが必要
- ✓ 避難所の運営に当たっては、女性がリーダーとして参画し、男女双方が運営にかかわることが必要

⇒「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」及び「解説・事例集」を参照する

⇒その他、地域の居住環境や地域環境、防災体制の取組等を勘案し、「気になるワード」や「対策のポイント」として挙げられていること以外について取り上げてもよい。